



津南の花／ひまわり



津南の木／フナ



津南の鳥／うぐいす



苗場山麓ジオパーク
Nishino-Sanzon Geopark

津南町教育大綱

～ 津南で育み、社会に大きく羽ばたく教育 ～

令和3年度～令和7年度

令和3年3月
新潟県津南町

教育ビジョン

～津南で育み、社会に大きく羽ばたく教育～

令和3年度～令和7年度

地域資源活用の継承

日本一の豪雪地帯といわれる津南町。「農を以て立町の基と為す」の町是のとおり、厳しい自然環境の中、豊かな大地を生かした農業の町として発展してきました。いにしへの縄文遺跡が残る津南町には、独自の風土や歴史が育まれ、その「雪国文化」は世界に誇れる教育的価値を生み出してきました。時代がどう変わろうとも、子どもたちに伝え続けるべき不易の教育として継承していきます。

子どもを取り巻く環境の変化

一方、近年、子どもたちを取り巻く教育環境は劇的に変化しています。新学習指導要領の改訂とともに、小学校では教科としての英語教育やプログラミング教育が必修化。GIGAスクール構想の推進により、ICT（情報通信技術）を活用した教育が強化されます。また、科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術（Art）、数学（Mathematics）を統合的に学ぶSTEAM教育が注目されるなど、子どもの学びの環境は大きく変化しています。子どもたちが生きる未来社会は、科学技術は一層進展し、教育の内容や方法も変化していきます。そうした社会を、逞しくしなやかに生きる力を育てていきます。

教えから学びへの転換

このような状況の中、津南町では、子どもの主体性や創造性を育むことを主眼に、「教えから学びへ」の教育を目指していきます。高度情報化された社会を生き抜いていくには、これまで以上に柔軟に物事を考え、果敢に挑戦していく強い精神力を養う必要があります。そのため、思考の基盤となる基礎学力をしっかりと身に付けつつ、豊かな自然環境や文化等の素材を自ら学ぶ教育に力を入れていきます。

社会に羽ばたく教育

町づくりは人づくり、津南町の将来を担うのは子どもたちです。津南で教育を受けた子どもたちが社会に羽ばたき、活躍する人材となることで、津南町の発展にもつながります。国連は、2030年に国際社会が解決すべき17の持続可能な開発目標（SDGs）を設定しました。津南で育った子どもたちが、このような世界規模の問題に立ち向かう思考力を備え、解決に向け、自主的に社会をつくっていく人材となるよう、特色ある教育の基盤を築いていきます。

令和3年3月 津南町長 桑原 悠



教育の基本方針

1 主体性や創造性を育む教育の推進

- ① 子ども一人一人の個性に応じた教育の推進
- ② 非認知能力の向上に向けた体験型教育
- ③ 保育士、教職員への支援

2 豊かな自然環境や文化を生かした「学び」の醸成

- ① 「苗場山麓ジオパーク」でのフィールドワーク型総合学習
- ② スポーツを軸とした自然体験型教育活動の推進

3 保育・教育環境の整備

- ① 自然との調和に根ざした新保育園整備
- ② 四季の変化や異なる文化などに直接触れる体験活動
- ③ 「遊び」を軸にした自然な学びづくり
- ④ 多様な立場で子どもの育ちを支える「育ネットつなん」の推進

4 世界に通用する英語教育・環境教育

- ① 小学校からのネイティブによる指導で議論できる英語習得
- ② 幼少期からの英語に触れる機会の醸成
- ③ 持続可能な社会づくりのための環境教育に触れる機会の醸成